

# T LEAD SCIENCES のシステムズ・シンキング・エンジニアリング

2026/1/27

T LEAD SCIENCES株式会社

STEチーム

# システムズエンジニアリングを手の内化するには「突破」のちからが必要

- 8つの“力”を1つの意思・1つの表現で統合できる能力。
- どれがひとつ欠けても、「突破する力」は実現しない。
- われわれT LEAD SCIENCESにはその能力がある。

T LEADの「T」は  
“突破”の「T」



## **T LEAD SCIENCES**

(対クライアント)マネージメント説得力

(対クライアント)現場説得力

リソース調達力

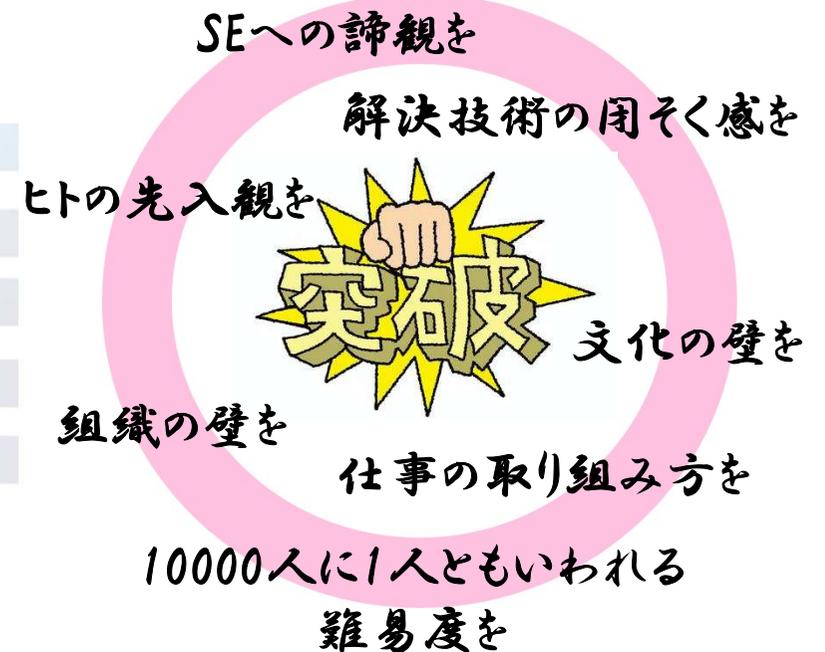
技術コーディネーション力&調達力

チェンジマネージメント企画・推進力&調達力

業務分析力

営業力

全体推進力&調達力

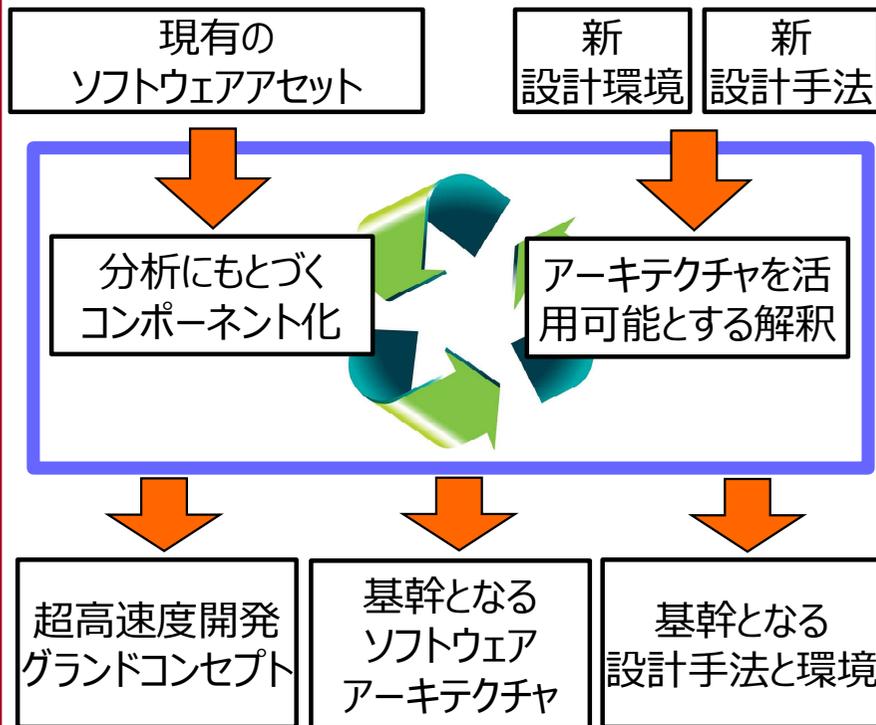


# 超高速の開発とセルベースシステム設計

## 超高速の開発 TLS-UHD26

その基幹思想はシステムズ・シンキング

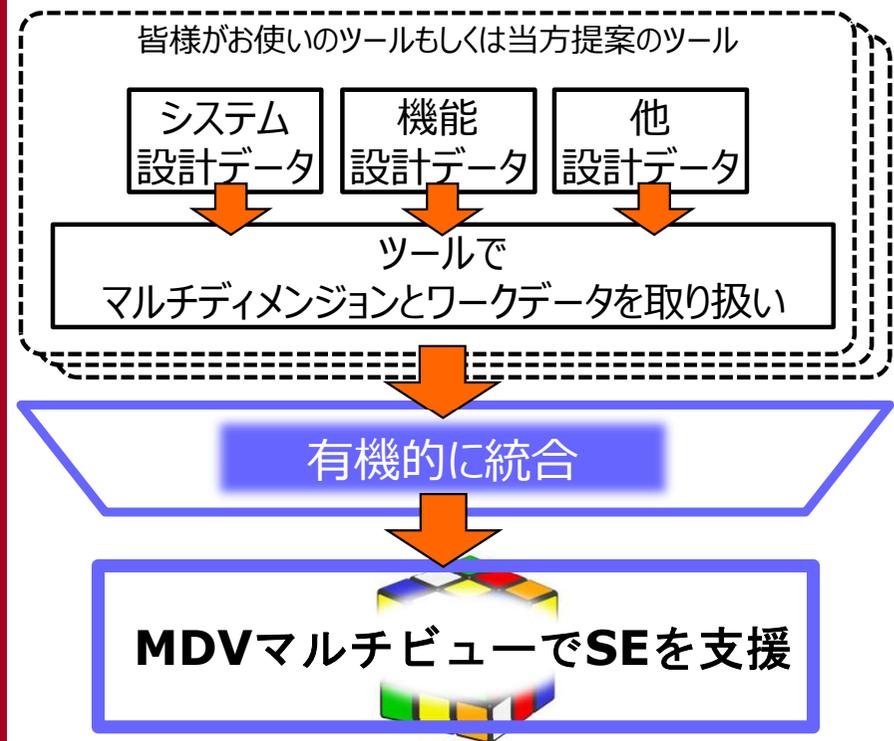
超高速のソフトウェア開発を可能とする設計手法。環境ドリブンでソフトウェアアーキテクチャ設計へ同期。システムズシンキングでアーキテクチャを活用可能に。



## セルベースのシステム設計 TLS-CBD26

その到達目標はシステムズ・シンキング

システムズ設計の実現を容易にするミニマル・セル設計。小規模のマルチビュー/ワークデータツールをセルで繋ぐ。グラフを駆使しセル統合、導入ハードルを下げる思想。

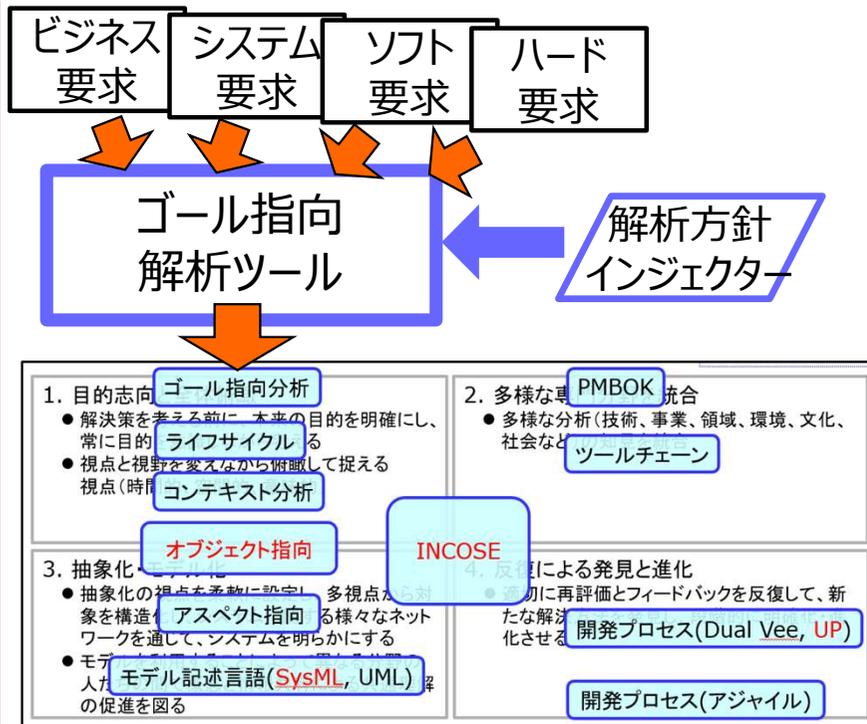


# ゴール指向支援とシステム設計の混乱整流化支援

## ゴール指向設定を容易に TLS-GOD26

めざす世界はシステムズ・シンキング

ゴール指向の欠落がSE推進の障害に。  
各ディメンションの要求を解析しゴール共有を可能に。  
解析の要点をツールにインジェクション。

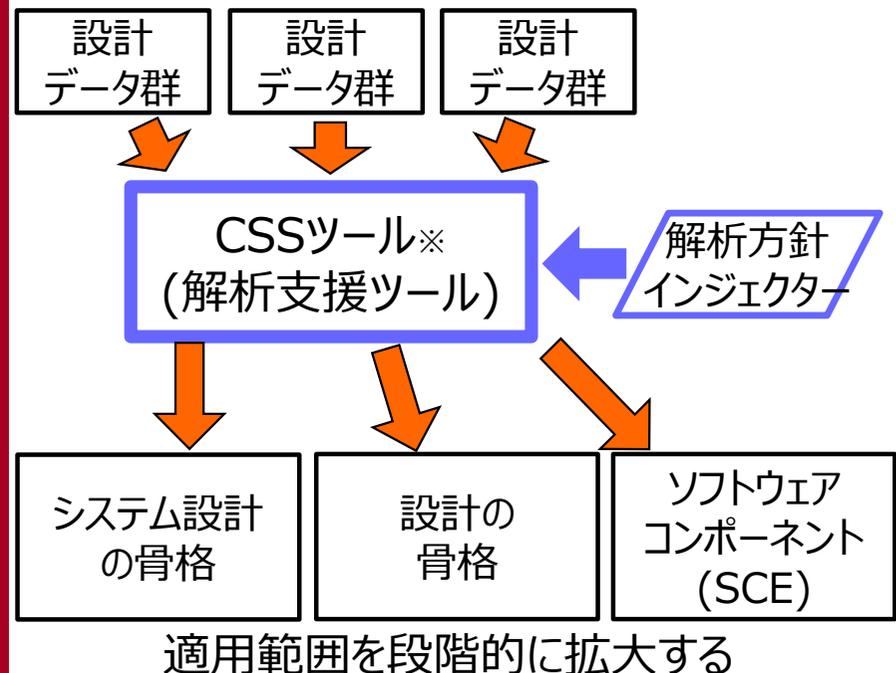


## システム設計の混乱を整流化 TLS-CSS26

躓きを排除しシステムズ・シンキングへ

SE推進の障害となるシステム設計の混乱解消。  
ハルシネーションの少ないAIを援用し設計を可視化。  
解析の要点をツールにインジェクション。

※Confuse Streamline Support tool



# T LEAD SCIENCES のシステムズ・シンキング・エンジニアリング

EOM